

2025 年 4 月 3 日
日本積層造形株式会社

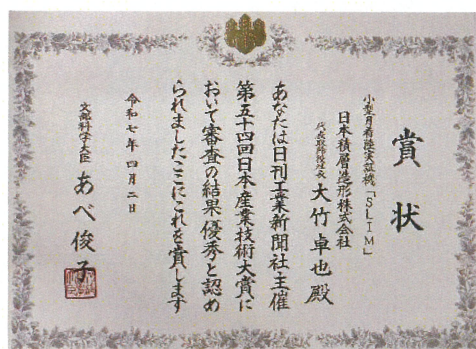
小型月着陸実証機 SLIM が日刊工業新聞社主催の 第 54 回 日本産業技術大賞 文部科学大臣賞を受賞

日本積層造形株式会社（本社：宮城県多賀城市、以下「JAMPT」、社長：大竹卓也）は、株式会社日刊工業新聞社（以下、「日刊工業新聞社」）主催の第 54 回 日本産業技術大賞において、小型月着陸実証機 SLIM（以下「SLIM」）が文部科学大臣賞を国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）・11 社と共同受賞し、2025 年 4 月 2 日に経団連会館で開催された贈賞式にて表彰されました。

SLIM は、月面へのピンポイント着陸技術の実証と軽量の探査機システムの実現を目指した JAXA のプロジェクトで、昨年 1 月に着陸に成功しました。着陸は、主脚で一度接地したのちに機体を前方に回転させる 2 段階方式がとられ、それを実現させるため、着陸時の衝撃を吸収する半円状の金属ラティス構造が採用され、JAMPT が 3D プリンターを用いて造形しました。



2025 年 4 月 2 日に行われた授与式における大竹卓也代表取締役社長（前列左から 4 人目）。



授与式にて授与された文部科学大臣賞の賞状と記念盾

日本産業技術大賞は、1972 年に創設された表彰制度で、毎年、その年に実用化された革新的な技術成果をあげた企業・グループを表彰するものです。今回も主要産業団体、学会などを通じて推薦された技術成果の中から、学識経験者らで構成する審査委

員会（松本洋一郎委員長＝東京大学名誉教授・外務大臣科学技術顧問）が審査にあたり、受賞案件が決定されました。

尚、本共同受賞者は、SLIMの開発・運用を主導した JAXA の他、三菱電機株式会社、三菱重工業株式会社、株式会社 IHI エアロスペース、明星電気株式会社、シャープエネルギーソリューション株式会社、古河電池株式会社、株式会社コイワイ、三菱電機ソフトウェア株式会社、三菱電機エンジニアリング株式会社、三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ株式会社、三菱電機湘南エレクトロニクス株式会社となります。



月面着陸に成功した SLIM の脚部に採用されたラティス構造の衝撃吸収材。

当社は、金属 3D プリンティングという新しい技術で、今後も宇宙探査と科学分野の技術の進化に貢献する他、新たな価値（ものづくり）と豊かな未来を創造すべく、これからも尽力いたします。

- ・ 日本積層造形株式会社（英文社名 JAMPT CORPORATION）について
日本で初めて材料粉末の開発・製造から試作品造形・量産対応までの一貫サービスを提供するサービスビューロとして、2017 年 10 月に設立。株主は、総合商社の双日株式会社、鋳物試作・量産メーカーの株式会社コイワイ、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社。東北大学・金属材料研究所及び東北大学・未来科学技術共同研究センターの学術的な裏付けと技術サポートを強みに、同業界のリーディングカンパニーを目指す。
 - ・ 本社所在地 〒985-0874 宮城県多賀城市八幡一本柳 3-8
 - ・ 代表者 大竹 卓也
 - ・ 設立 2017 年
 - ・ 資本金 99,000 千円
 - ・ URL <https://www.jampt.jp>
- ・ 「東北から宇宙へ」（JAMPT ウェブサイトの宇宙関連特設ページ）
<https://jampt.jp/company/challenge-to-space/>

【リリースに関するお問い合わせ】

日本積層造形株式会社 営業部 TEL:022-290-0625